

カンキツ温州萎縮病 (SDV)による被害実態

温州萎縮ウイルス (SDV) に感染すると樹勢や果実品質が低下する。
 葉での特徴的な症状は、春の新梢で見られるが、夏秋梢では見られなくなる。
 接木 (穂木) と土壌で伝染するとされている。

葉 (新梢)



- さじ型や舟型になり小型化
- 節間がつまり、萎縮
- 夏秋梢では症状が出ない

春葉 (新梢) の奇形
 (温州みかん)

紅まどんなの被害



春葉

発病樹

健全樹

果実



- 奇形やモザイク果
- 糖度の低下
- 小玉化、階級比率悪化

モザイク症状
 (温州みかん)

○ 症状や被害程度は、品種間差がある

SDVの果実品質に及ぼす影響 (H23)

